

世界の多様性を 学んだ子どもたち

区内104校、
約4万5000人が
取り組んだ。

東京2020大会の開催が決まってから、すべての区立小・中学校で世界各国の多様な人種や、言語、文化、歴史を学んだ。残念な会場での観戦は叶わなかったが、試合を通じて様々な国のアスリートたちを応援した。この体験を通して、これからの区立区を支える子どもたちのレガシーとなるだろう。

学校での取り組み



多くの学校では、世界的なスポーツの祭典オリンピック・パラリンピックにちなんでいろいろな取り組みで子どもたちが楽しんだ。

オリンピック・パラリンピック 教育レガシープロジェクト

思い出さ
カチに

ポスター「憲法読解後の乳」



ピクトグラム

東京2020大会を親戚した感想や書き表現した絵画や絵本、動画、調べ学習などの成果が子どもたちからたくさん集まった。

2007年から取り組んでいる「おいしい給食事業」の一環として、オリパラ参加国の料理を給食にアレンジ。

おいしい給食



給食メニューコンクール

子どもたちが考えた「世界の料理」受賞作品は、実際の給食になった。

なんと
6,980作品も
応募あり！

オリンピック・ パラリンピック学習

国際理解教室

外国人のゲストティーチャーから、異文化理解や国際協働についてお話を聞いた。



延べ
520か国！



オリンピック・ パラリンピック動画

競技や歴史をわかりやすく伝える動画を制作して、オリンピックを担ぎ、講演会や競技体験で障がい者スポーツへの理解を深めた。

世界と子どもプロジェクト

各国の国を選んで文化や歴史、言語などを調べ、日本と世界の国々の違いを学んだ。

2013 (平成25年)

9月 東京大会開催決定

2016年 (平成28年)

3月 外国人おもてなし語学ボランティア育成講座開校
4月 小・中学校でオリンピック・パラリンピック学習を開始
8月 リオオリンピック開幕 録生 中村克選手出場
9月 リオパラリンピック開幕

2017年 (平成29年)

10月 オリパラ連携プロジェクト 覚書調印
<GAME CHANGER-パラスポーツで社会を変えよう>
11月 オリパラのバランビアンが初来日

2018年

2月 平昌オリンピック開幕
スピードスケート 加藤糸治選手出場
バドミントン 佐藤真由選手初実働
3月 東京2020大会カウント
7月 ダウンサインネージ設置



オリパラ連携事業の覚書調印式

2019年

2019年 (平成31年・令和元年)
4月 コンテナ型喫煙所等整備開始
7月 足立の火花で五輪をイメージした火花を花火上げ
7-8月 各町会・自治会で「東京五輪音頭-2020」を踊った
9月 学校 ICT 環境(タブレット端末導入)の本格整備開始
9月 ラグビーワールドカップ2019開幕
10月 オリパラのホストタウンに登録



五輪をイメージした花火

2020年

2020年 (令和2年)
1月 商店街の街路地にオリンピック・パラリンピックフラッグを掲出
1月 小・中学校に東京2020大会応援横断幕を掲示
3月 オリパラ連携プロジェクトが認められ共生社会ホストタウンに登録
9月 障がい者の運動・スポーツ相談窓口「あだちスポーツコンシェルジュ」を開設
11月 スペシャルライフアワード開設



スペシャルライフアワード完成記念式典

2021年

2021年 (令和3年)
1月 花畑に「文教大学あだちキャンパス」開設
5月 まちをキレイに！不法投棄対策
オリンピック・パラリンピック開催記念キャンペーン
7/18 東京2020オリンピック東京火種リレー
点火セレモニー開催(東京都中央卸売市場足立市場)
7月 東京2020オリンピック開幕
トランポリン 森ひかる選手 ボクシング 森裕隆選手
8/20 東京2020(パラリンピック)選手リレー一駅火種
(区立区総合スポーツセンター)
8/21 東京2020(パラリンピック)聖火リレー
点火セレモニー開催(都立西池袋公園)
8月 東京2020(パラリンピック)聖火リレー
11月 六町駅前安全安心ステーション(愛称:るくまる)開設

さあ、あなたも Game Changer になろう

～試合の喜びを大きく変える～

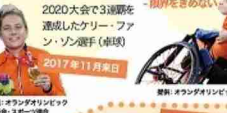
2017年から、共生社会の先進国であるオランダとの連携事業「GAME CHANGER-パラスポーツで社会を変えよう」を、花畑地域の区立小・中学校と都立特別支援学校で展開。パラアスリートから多くの子を学んだ。パラスポーツを通じてお互いを尊重し支え合うまちをつくらせている。障がいの有無に関わらず、誰もが暮らしやすい共生社会を実現させるのは、あなたです。

オランダのパラアスリートが 伝えたもの



2021年9月4日女子選手バスケットボール決勝で花畑地域の子もたちが関わった書きこみ入りの国旗を掲げるボー・クラム選手。

Challenge No Limits



アスリート初! ～誰もが運動・スポーツを楽しめるまちへ スペシャルライフアワード



オランダの伝説的バドミントン選手ヨハン・クライフ氏が設立した財団ヨハン・クライフ財団をいただき、2020年11月、足立区総合スポーツセンターに設置。障がいの有無にかかわらず、運動・スポーツを楽しめる。みんなで一緒に楽しもう!!



2019年7月 月曜日

Do it!

～選手はやって～
東京2020大会で3つのメダルを獲得したマルレーヌ・ヴァン・ガンセウィング選手(陸上)



2019年11月 月曜日

2018年ヨーロッパ選手権で銀メダルを獲得したマルチン・スワップ選手(陸上)

共生社会の先進国オランダに学び、2020年9月開校のあだち区立特別支援学校を通じて障がい、体験学習や競技を通じて関わり、共生社会の機会を作り出している。まずはご参加ください。

あだちスポーツ コンシェルジュ



GAME CHANGER プロジェクトの動画を配信

